

Medi-Way 医療通訳者紹介 Vol.5 ベトナム語担当 トアさん

◆なぜ医療通訳者になった？

ベトナムで医学部を卒業した私は、もともと医療関連の仕事に非常に興味を持っていました。どこの国でも同じかと思いますが、病院に行く際は、外国人にとって言葉がとても困難です。日常会話ができると言っても、医療用語の理解は十分とは言えません。医師と正確なコミュニケーションが取れない場合は、適切な治療を受けることができないと考えられます。私は今まで身につけた医療知識と日本語能力を活かし、在日ベトナム人に対して少しでもお力になれば幸いだと思いました。



◆今まで医療通訳に携わってきて一番嬉しかったことは？

医療通訳に携わって約1年が経ちました。この仕事を通じて毎日少しずつ知識や経験を積み重ね、昨日より今日、今日より明日と、完璧な仕事を目指して取り組んでいます。たくさんの患者さまのお役に立てる事が、私にとって一番嬉しいことです。

◆より良い通訳をするために心掛けていることは？

通訳が上手くできるように、日ごろから医療基礎知識や専門用語についての学習を繰り返したり、自分の単語帳を作ったりする努力をしています。学習した言葉を通訳の中で最大限活用することができれば、脳の記憶により一層定着しやすと思います。また、毎日の通訳で上手くいった点や上手くいかなかった点をしっかり把握し、改善できる部分は、確実に改善するように心がけることが大切だと思います。

ちょっと一言 それって何て言うの？

「メリークリスマス！」
「あけましておめでとうございます。」

英語 「Merry Christmas!」
「A happy new year.」

中国語 「圣诞节快乐！」(シヨウダツツヅエクワイア)
「新年快乐。」(シンニツクワイア)

ベトナム語 「Giáng sinh vui vẻ！」(ジァンシツウァーイェ!)
「Chúc mừng năm mới。」(チュックムンナムモイ)

スペイン語 「Feliz Navidad!»(フェリスナヴィダッ)
「Feliz Año Nuevo。」(フェリスアニョヌエボ)

ポルトガル語 「Feliz Natal!»(フェリスナタル)
「Feliz ano novo。」(フェリスアノノヴォ)



今月のトピックス

「新型コロナウイルス」

今年も残すところわずかとなりました。2020年のトピックスは何といても「新型コロナ」ですね。まず通訳センターでの大きな変化。春に発出された緊急事態宣言を受けて一時は全員が自宅でのリモート通訳となりました。その後センター出勤も少し増えていますが、何より業務を継続できたことで「遠隔」の利便性を自ら感じた1年でした。医療通訳という点では、現場での同行通訳が困難となり、遠隔利用への切替えが進んだように思います。特にベトナム語やネパール語では依頼件数が着実に増えた反面、通訳者たちからは「患者さまが、自分の国に帰りたくても帰れない」と不安な様子を心配する声も上がりました。また、センターに出勤するようになって、ご多分に漏れずアルコール消毒とマスク着用、「3密」回避の配置や換気に気を配りました。マスクに関しては、通訳時に医療スタッフや患者さまがみんなマスク姿なので「声が聞き取りづらくて困った。」という感想が多く聞かれました。N95マスクを着けたことのある通訳者たちからは、「1時間でも息苦しくて大変なのに、現場の医療者の方々は1日中防護服も着て、本当に頭が下がる！」といった声もありました。「新型コロナ」は大きな変化をもたらしましたが、通訳者たちは以前と変わらず自身の体調管理と「いい通訳」のための環境整備に努めています。来年は少しでも穏やかな年になるよう願ってやみません。



ひとつこぼれ話を

南米のニュースでは、コロナから回復された患者さまが、まるで英雄のようにたくさんの医療従事者に見送られ、退院される光景がよく映るそうです。世界中が大変な状況の中、気持ちだけはポジティブでいたいですね。

前号の医療通訳者紹介で、松下さんを「スペイン語担当」とお伝えしていましたが、正しくは「ポルトガル語担当」です。訂正してお詫びいたします。

